



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月4日

上場会社名 株式会社MIXI 上場取引所 東
コード番号 2121 URL <https://mixi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 木村 弘毅
問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 CFO (氏名) 島村 恒平 (TEL) 03-6897-9500
四半期報告書提出予定日 2023年8月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)
(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	29,207	△5.9	3,314	△50.6	2,245	△59.6	2,344	△56.0	1,315	△62.7
2023年3月期第1四半期	31,022	8.7	6,710	△4.0	5,557	△7.6	5,326	△12.0	3,524	△13.1

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,457百万円(△58.9%) 2023年3月期第1四半期 3,548百万円(△10.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	18.12	17.91
2023年3月期第1四半期	48.57	47.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	211,259	177,910	83.1
2023年3月期	222,321	183,463	81.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 175,513百万円 2023年3月期 181,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	△6.0	16,000	△45.7	12,000	△51.7	11,000	△39.7	7,500	45.3	102.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	78,230,850株	2023年3月期	78,230,850株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	6,330,925株	2023年3月期	5,257,825株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	72,633,754株	2023年3月期1Q	72,553,549株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2023年8月4日に機関投資家及び証券アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	31,022	29,207	△5.9%
EBITDA(百万円)	6,710	3,314	△50.6%
営業利益(百万円)	5,557	2,245	△59.6%
経常利益(百万円)	5,326	2,344	△56.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	3,524	1,315	△62.7%

当第1四半期連結累計期間の売上高は29,207百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。また、EBITDAは3,314百万円（前年同四半期比50.6%減）、営業利益は2,245百万円（前年同四半期比59.6%減）、経常利益は2,344百万円（前年同四半期比56.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,315百万円（前年同四半期比62.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

① デジタルエンターテインメント事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	22,478	18,847	△16.2%
セグメント利益(百万円)	10,750	6,954	△35.3%

デジタルエンターテインメント事業は、スマートデバイス向けゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。当第1四半期連結累計期間におきましては、「モンスターストライク」は、ARPUの低下等により、前第1四半期連結累計期間と比較して、売上高及びセグメント利益は減少しております。なお、2023年5月にはモンスターIPを活用した新作タイトル「キュービックスターズ」をリリースしております。

この結果、当事業の売上高は18,847百万円（前年同四半期比16.2%減）、セグメント利益は6,954百万円（前年同四半期比35.3%減）となりました。

② スポーツ事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	6,350	7,544	18.8%
セグメント損失(△)(百万円)	△653	△277	－%

スポーツ事業では、観戦事業、公営競技事業への投資を行っております。観戦事業におきましては、千葉ジェッツのチャンピオンシップ準優勝やFC東京の観客数の回復に伴い、売上を伸ばしております。公営競技事業におきましては、スポーツベッティングサービス「TIPSTAR」及び株式会社チャリ・ロトでオンライン車券販売高が伸びたことにより、前第1四半期連結累計期間と比較して、売上を順調に拡大しております。なお、「TIPSTAR」は、コストの効率化を進め費用の抑制を図ったことで、利益は改善しております。

この結果、当事業の売上高は7,544百万円（前年同四半期比18.8%増）、セグメント損失は277百万円（前年同四半期はセグメント損失653百万円）となりました。

③ ライフスタイル事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	1,847	2,421	31.1%
セグメント損失(△)(百万円)	△173	△374	－%

ライフスタイル事業では、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」、SNS「mixi」を中心に各種サービスを運営しております。「家族アルバム みてね」におきましては、フォトプリントサービス及び母の日父の日ギフト等のサービスが好調であったことから売上を順調に拡大しております。一方、海外ユーザー獲得のためのプロモーション及び体制強化への投資を積極的に行っております。

この結果、当事業の売上高は2,421百万円（前年同四半期比31.1%増）、セグメント損失は374百万円（前年同四半期はセグメント損失173百万円）となりました。

④ 投資事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	313	355	13.1%
セグメント利益(百万円)	179	216	20.9%

投資事業では、スタートアップやベンチャーキャピタルへの出資を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、当社グループの出資するファンドの損益を取り込んでおります。

この結果、当事業の売上高は355百万円（前年同四半期比13.1%増）、セグメント利益は216百万円（前年同四半期比20.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第1四半期連結累計期間の財政状態は、資産については流動資産が152,729百万円（前連結会計年度末比10,177百万円減少）となり、主な要因としては、自己株式の取得、法人税等、配当金の支払いによる現預金の減少があげられます。固定資産は58,530百万円（前連結会計年度末比883百万円減少）となっております。

負債については、流動負債が24,069百万円（前連結会計年度末比5,174百万円減少）となり、主な要因としては、未払法人税等などの減少があげられます。純資産は177,910百万円（前連結会計年度末比5,552百万円減少）となり、主な要因としては、自己株式の取得、配当金の支払いによる減少があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて16,934百万円減少し、101,768百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は8,222百万円（前年同四半期は2,147百万円の獲得）となりました。これは主に、前渡金の増加4,510百万円及び法人税等の支払額4,425百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は2,595百万円（前年同四半期は1,333百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,197百万円及び投資有価証券の取得による支出665百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は6,350百万円（前年同四半期は3,434百万円の使用）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出3,013百万円及び配当金の支払3,576百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日の開示時点から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,922	101,989
受取手形及び売掛金	13,736	11,497
営業投資有価証券	19,514	20,517
商品	484	507
未収消費税等	10	23
その他	10,274	18,230
貸倒引当金	△35	△35
流動資産合計	162,907	152,729
固定資産		
有形固定資産	15,114	15,694
無形固定資産		
のれん	9,806	9,471
顧客関連資産	5,638	5,468
商標権	2,467	2,414
その他	1,498	1,419
無形固定資産合計	19,410	18,774
投資その他の資産		
投資有価証券	10,313	10,841
長期貸付金	3,405	3,007
繰延税金資産	6,963	6,067
その他	5,353	5,421
貸倒引当金	△1,147	△1,277
投資その他の資産合計	24,889	24,060
固定資産合計	59,413	58,530
資産合計	222,321	211,259
負債の部		
流動負債		
短期借入金	912	1,304
未払金	13,606	12,518
未払法人税等	4,677	186
未払消費税等	1,571	740
賞与引当金	2,847	673
その他	5,629	8,646
流動負債合計	29,244	24,069
固定負債		
長期借入金	6,873	6,739
繰延税金負債	2,506	2,425
その他	234	115
固定負債合計	9,613	9,279
負債合計	38,857	33,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,662	9,662
利益剰余金	177,655	174,956
自己株式	△16,900	△19,899

株主資本合計	180,116	174,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383	389
為替換算調整勘定	510	705
その他の包括利益累計額合計	893	1,095
新株予約権	1,127	1,127
非支配株主持分	1,324	1,269
純資産合計	183,463	177,910
負債純資産合計	222,321	211,259

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	31,022	29,207
売上原価	8,267	9,929
売上総利益	22,754	19,278
販売費及び一般管理費	17,197	17,033
営業利益	5,557	2,245
営業外収益		
助成金収入	31	—
受取利息	1	5
為替差益	10	274
その他	23	28
営業外収益合計	67	308
営業外費用		
支払利息	15	13
持分法による投資損失	230	153
その他	52	42
営業外費用合計	298	209
経常利益	5,326	2,344
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
貸倒引当金繰入額	—	131
特別損失合計	0	132
税金等調整前四半期純利益	5,326	2,212
法人税、住民税及び事業税	1,347	143
法人税等調整額	528	812
法人税等合計	1,876	956
四半期純利益	3,449	1,255
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△74	△60
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,524	1,315

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,449	1,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194	6
為替換算調整勘定	292	195
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△0
その他の包括利益合計	98	201
四半期包括利益	3,548	1,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,622	1,517
非支配株主に係る四半期包括利益	△73	△60

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,326	2,212
減価償却費	391	322
無形固定資産償却費	448	412
のれん償却額	312	334
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△820	△2,174
受取利息及び受取配当金	△1	△5
支払利息	15	13
為替差損益(△は益)	△95	△89
持分法による投資損益(△は益)	230	153
貸倒引当金繰入額	—	131
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△820	△960
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
棚卸資産の増減額(△は増加)	146	△30
売上債権の増減額(△は増加)	1,961	2,246
前渡金の増減額(△は増加)	226	△4,510
未払金の増減額(△は減少)	△2,191	△1,151
未払消費税等の増減額(△は減少)	291	△830
その他の資産の増減額(△は増加)	△2,154	△1,827
その他	1,144	1,964
小計	4,411	△3,789
利息及び配当金の受取額	1	5
利息の支払額	△15	△12
法人税等の支払額	△2,249	△4,425
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,147	△8,222
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△621	△1,197
無形固定資産の取得による支出	△192	△90
投資有価証券の取得による支出	—	△665
貸付けによる支出	△1,120	△1,800
貸付金の回収による収入	640	1,200
差入保証金の差入による支出	△51	△43
差入保証金の回収による収入	11	0
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,333	△2,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	199	403
長期借入金の返済による支出	△95	△145
自己株式の取得による支出	△0	△3,013
配当金の支払額	△3,534	△3,576
その他	△4	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,434	△6,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	303	233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,315	△16,934
現金及び現金同等物の期首残高	118,433	118,703
現金及び現金同等物の四半期末残高	116,117	101,768

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,077,100株の取得を行いました。また、当第1四半期連結累計期間におけるストックオプションの権利行使による自己株式4,000株を払い出しました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,999百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式が19,899百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
現金及び預金勘定	116,317百万円	101,989百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△200百万円	△220百万円
現金及び現金同等物	116,117百万円	101,768百万円

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注) 3	22,478	6,350	1,847	—	30,676	32	30,709
その他の収益	—	—	—	313	313	—	313
外部顧客への売上高	22,478	6,350	1,847	313	30,990	32	31,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,478	6,350	1,847	313	30,990	32	31,022
セグメント利益又は損失(△)	10,750	△653	△173	179	10,102	△4,545	5,557
その他の項目							
減価償却費	76	464	70	0	611	228	839
のれん償却額	—	239	72	—	312	—	312

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,545百万円には、報告セグメントの減価償却費△611百万円及びのれん償却額△312百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上32百万円、全社費用△3,653百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注) 3	18,847	7,544	2,421	—	28,813	39	28,852
その他の収益	—	—	—	355	355	—	355
外部顧客への売上高	18,847	7,544	2,421	355	29,168	39	29,207
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	18,847	7,544	2,421	355	29,168	39	29,207
セグメント利益又は損失(△)	6,954	△277	△374	216	6,519	△4,274	2,245
その他の項目							
減価償却費	25	404	74	0	505	229	734
のれん償却額	—	239	95	—	334	—	334

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,274百万円には、報告セグメントの減価償却費△505百万円及びのれん償却額△334百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上39百万円、全社費用△3,474百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。